



“過ちを改めざる、これを過ちという”

第3回定期試験の返却答案を目にして、悲喜こもごもだったのではないのでしょうか。思ったような結果が出なかった人は、1年次最後の定期試験に向けて、前向きな改善をしましょう。

「過ちを改めざる、これを過ちという。」「論語」より 間違いを犯しても改めないことこそ本当の過ちだ、という教えです。「次は計画的に進めよう」「弱点を分析して克服しよう」「復習の習慣をつけよう」「睡眠と体調管理を意識しよう」など、今日からできることを一つずつ積み上げていきましょう。

冬が近づくにつれて家で自分と向き合う時間も増えていきます。だからこそ、この12月は、「自分を磨く」ことに取り組むのにぴったりの季節です。“自分磨き”というと、何か壮大な目標を立てて、一気に変わらなければいけないように感じるかもしれません。でも実際は、日々のほんの少しの積み重ねが、自分を確実に成長させてくれます。大きな変化は、小さな一歩の連続でしか生まれません。

例えば、朝、いつもより15分だけ早く起きてみる。寝る前10分だけ読書やストレッチの時間にします。次の日の予定を、手帳やスマホに一言だけ書いておく。毎日「今日よかったこと」を一つメモする。授業中に一つだけ新しい質問をしてみる。机の中やカバンの中を少し整理してみる。

これらは特別なことではありませんが、続けることで「自分で自分を整える力」が育っていきます。この力は、高校生活や勉強だけでなく、将来の生活すべてに役に立つ“土台”になります。

高校1年生の今は、まだ進路がはっきり決まっていなくても大丈夫です。むしろ、今はさまざまなことに挑戦しながら、自分の“好き”や“得意”をゆっくり探していく時期。焦る必要はありません。大切なのは、昨日より少しだけ前に進んでいるという感覚を持つことです。

寒さが深まり、1年を振り返る機会が増える12月。ぜひ、このタイミングで自分自身の時間を少しつくり、「どんな自分になりたいか」「そのために今日できることは何か」を考えてみてください。答えが見つからなくても、その時間を取ったこと自体がすでに一歩前進です。“自分を磨く”とは、自分を大切に扱うということ。そしてそれは、未来の自分への小さなプレゼントでもあります。12月が、みなさんにとって自分を少し好きになれる月になりますように。

1年次主任 渡邊 晃



～12月行事予定～ 今年を振り返る1カ月に

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	月	B	きずなの日	16	火	B	
2	火	B		17	水	B	生徒協議会
3	水	B		18	木	B	
4	木	B	原付免許取得者集会	19	金	B	
5	金	B		20	土		1,2年次登校日、2年次課題論文中間発表会見学
6	土		土曜課外(英、小論模試)	21	日		
7	日			22	月	A	
8	月	A	キャリアガイダンス(職業編)、2年次修学旅行(~11木)	23	火	A	
9	火	A		24	水	行事	休業前集会 報告会大掃除 音楽発表会
10	水	A		25	木		冬季休業開始、3年共通テストリハーサル
11	木	A		26	金		3年共通テストリハーサル
12	金	A	キャリアガイダンス(進学編)	27	土		
13	土			28	日		
14	日		終日敷地内立入禁止(停電・断水)	29	月		校内完全閉鎖(~1/3)
15	月	B	きずなの日	30	火		
				31	水		

保護者の皆様へ

12月に入り日が短くなり、師走といわれるように年末を迎え何かと慌ただしく、事故が発生しやすい時期でもあります。県内でも「年末の交通事故防止県民運動」が始まっております。毎年、十数件の自転車・バイクの交通事故件数が発生し、ひとつ間違えば命を落としかねない事故も報告されています。自転車ヘルメットを着用し、「自分の身は自分で守る」ようこの機会にご家庭においても交通事故防止についてご確認くださいませよう宜しくお願いします。

◎先生方からの寄稿 今月は2組の担任 穴山加奈子先生、副担任 志村泉先生です。

※みなさんが生まれたころ私は… 2組担任 穴山 加奈子

私が高校1年生の時、私の担任の先生にお子さんが生まれました。そのお子さんが今年、高校に入学したそうです。あれ、ということ！！早々に気が付いていたものの、こういう話をするたびに、年齢がどうのこうのという計算を始めるだろうなと思い、伝えていませんでした。しかしよく考えると、私自身が高校1年生の時に生まれた子たちの担任を、その子たちが高校1年生の時にできるという巡り合わせてやってくることはもうないと思うと、みなさんと私の「高校1年生」という言葉でつながる縁を伝えずにはいられませんでした。

みなさんがこの世界と出会ったときに、私もまた新しい激動の1年を過ごしていました。その思い出の大半が部活動とその仲間との日々です。高校入学とともに先生方の助けもあり、ソフトボール部を創部してもらいました。やっとのことでそろった9人の目標は2年後の沖縄インターハイに出ることでした。修学旅行が関西だったこともあり、沖縄に行きたい！そう思って立てた遠すぎる目標でした。練習する場所がなく、近くの草むらさ草取りや整備を行い練習できる場所にしました。それぞれの家族のおかげで道具もそろい、やっとなら練習はとても大変でした。若くて熱心な顧問の先生は本気で私たちを沖縄に連れていくために指導してくれました。夏は朝5時から、ノックも9人で2時間は辛かった、試合に負けると高校まで走って帰ったこともあり。女子とは思えない筋トレや冬のメニュー、あとで聞きましたが、ぐっすり眠る私の呼吸を家族が確かめていたそうです。でも、部活が終わると「今日も生き延びたね」と言って、一緒に笑える仲間がいました。そしてみんな先生のことが大好きでした。時間と体力を割いて、本気で向き合っていることを知っていたからです。先生が出したメニューをさぼったことはありませんでした。「えー」と言いながらも(先生がいると「えー」に対してさらに課題が課されたので言いませんでしたが)嘘をつかずに、ちゃんとやる。1年後、先生は異動してしまいましたが、3年間自分たちがやり続け、誇れることです。「あの日々に戻りたいか」といってそれは否だけれど、あの日々があったから今があるよね。」それを今に至るまで何度も何度も仲間と共有してきました。それぞれの「今」をあの1年が支えてくれています。大学に行ったり、社会人になったり、家族を持ったり、状況が変わっても会って、あの日の思い出を語り合える仲間と出会ったこと、本気で向き合ってくれる先生と出会ったことが、その高校で過ごした意味となりました。

勉強は自分次第です。どの高校、どの大学に行こうと自分の意志と努力次第です。だからこそ、今いる場所とどんな人と出会ってどんな時間を過ごすかがその場所にいる意味になります。出会えてよかったなと思える仲間を作ってください。そして誰かにとって出会えてよかった、そんな人になってください。縁あって、出会ったみなさんへの願いです。私も頑張ります



※川柳年賀状 2組副担任 志村 泉

私の家族は、毎年、年賀状の近況報告に川柳を使っています。これは、私の父がしていたことなのですが、それを私が真似をしたというか、受け継いだというか、そんなところ。娘が2人いるので、4人分を10月くらいから考えます。

始めは川柳を使っていたわけではなく、それぞれの近況を短い文章で載せていました。写真をたくさん載せるので、文章はそれほど多く載せることができません。そうすると、より端的にそれぞれを表現するにはどうしたら良いのだろうかと考え、父親の川柳に倣ったというわけです。17音にどのような言葉や情報を入れるのか、なかなか苦戦します。ただ17音にすれば良いのではなく、干支にちなんで作ります。

今年の干支は「巳」だったので、私の川柳は「休日は 資源へビン・カン 捨てる役」でした。来年の干支は「午」です。馬にちなんだ言葉を探す中で、「千軍万馬」という言葉に辿り着きました。社会経験が豊富という意味です。この言葉か「馬車馬」のどちらを採用するか迷って

いるところです。

皆さんは、年賀状を書きますか？最近ハガキ代も高騰し、LINE等で年明けの挨拶をする人が増えました。どういう形でも、挨拶されると嬉しいものです。2025年も終わりに近づいてきました。そろそろ年越しの準備をしても良い時期ですね。

